



愛知県岡崎市


いしずえ【礎】

N 家康公生誕の城
岡崎城

Note 愛知県岡崎市康生町561 (岡崎公園内)
☎0564-22-2122
開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 / 年末(12/29~12/31)
入館料 / 大人200円、小人100円
http://okazakipark.com

🚗 東名高速 岡崎ICより約10分

1531(享祿4)年に家康公の祖父、松平清康公により現在地に移された。1542(天文11)年に家康公が生じた城として知られる。天守閣は1959(昭和34)年に復興。周辺は公園として整備され、東照公えな塚(右上写真)などの歴史スポットはもちろん「三河武士のやかた家康館」など見どころも多い。最近では、土日祝日に同館前で演武を披露する「グレート家康公 武将隊」が大人気。




※写真は本丸北側・廊下橋址付近。「八千代本店」を背にし天守に向かって左手を見ている

家康公が誕生し、東照公産湯の井戸など、ゆかりの史跡も多い岡崎城。「家康公が生まれた時代の姿が残る貴重な城です」という広島大学大学院教授の三浦正幸さんは、城郭研究の第一人者だ。「珍しい特徴がいくつもある」という岡崎城を三浦さんと歩き、見どころなどを聞いた。



東照公産湯の井戸

家康公が生まれた時代の姿を残す岡崎城

— 三浦さんが感じる岡崎城の魅力は？どこに注目すべきでしょうか。

現在、多くの人が「城」と認識しているのは桃山・江戸時代に普及した近世城郭ですが、岡崎城は、それ以前の時代につくられた中世城郭の姿が見られます。ここ*から見るとよくわかるのですが、本丸北の堀は幅が狭くて深い。曲線を描いており水がない空堀で、内周側は土手になっています。これが家康公がいた時代の城の特徴です。さらに珍しいのは、土手と向かい合う外周側が石垣になっていること。これは1590(天正18)年に城主となった

豊臣秀吉の家臣、田中吉政が築いたものです。石垣は近世城郭の特徴ですから、岡崎城には中世城郭と近世城郭の両方の特徴がある。つまり家康公が生まれた頃の室町時代と、秀吉が天下統一を果たした桃山時代の姿を同時に見られる、極めて貴重な存在です。この堀も吉政が家康公時代の堀の形状を活かして石垣を築いたため、円形闘技場のような姿になりました。ダイナミックな美しい曲線が印象的で、好きな場所の一つです。曲線^{くろわ}といえば、曲輪にも注目です。城を構成する本丸・二の丸などの区画のことを曲輪といいますが、岡崎城は一つひとつの曲輪が小さく、周囲が不規則な曲線になっています。これは自然地形を巧みに利用し、山を削って曲輪を築いたからです。



現在「八千代本店」があるあたりが「持仏堂曲輪」。土手で囲まれ、自然地形を利用したことがわかる

家康公のいしずえ【礎】



愛知県岡崎市

訪れるたびに新たな魅力が発見できる

— 戦いの備えとしての岡崎城は？

城を守るためにお堀、城壁、櫓などの配置を決める城の設計を縄張といいますが、戦国時代最強の縄張は岡崎城でしょう。岡崎城の北側には、空堀が二重に構えられています。敵が本丸に侵入するためには、二つの堀に挟まれた、曲がって見通しの悪く狭い細道を進まなければなりません。当時は堀に沿って土堀があり、細い道をのろのろと進む敵に対して土堀から矢を放ち攻撃できる。たとえ敵が突破してもその先は、またしても同様の細道に出、本丸からは幅が狭くて深い内堀越しに弓で狙い打ちできる。非常に戦略的で隙がなく守りが堅い縄張です。

— 東隅櫓(ひがしすみやくら)の再建の際、三浦さんは監修もされていますね。東隅櫓は古い資料をもとに江戸時代の工法を忠実に再現しました。隣には、東曲輪の堀があり、底が通路になっている中世城郭の特徴を持ちます。また、天守の石垣は逆反りの石垣で、ふくらんだ形状になるよう逆勾配に積まれた珍しいものですし、心柱の礎石は日本最大級です。本丸入口の城門跡の石垣など、よく見れば石工のノミの跡が表面に残り、スジがきれいなもの、乱れているものなど個性が見られ、ベテランの老職人か、せつかちで若い職人か…などと想像するのも楽しいものです。家康公誕生の城として知られる岡崎城ですが、天守だけでなく地形や石垣、土手などを観察しながら時間をかけて歩いてみてください。家康公が生きた時代がぐっと近く感じられるのではないのでしょうか。



N 広島大学大学院文学研究科教授・工学博士
三浦正幸さん

Note

1954年、名古屋生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。工学博士、一級建築士。専門は日本建築史および文化財学で城郭・神社・寺院・民家・茶室などを研究。岡崎城をはじめ、多数の城跡の整備委員会委員を兼務。城に関する著書も多い。

E 家康公四百年祭 岡崎城まつり

江戸の暮らし・遊び・食が体験できる大江戸にぎわい横丁など「江戸のまち」が岡崎公園にのみがえる！家康公の遺徳を讃える大型ドーム映像など見どころがいっぱいのイベントを開催。

期間／2015年10月30日(金)～11月3日(火・祝) 場所／岡崎公園多目的広場 ☎0564-23-6384 (岡崎市観光課)



本丸に続く細くて曲がった東曲輪(おびくるわ)。一段高い左の場所にはかつて土堀があった



無料で公開され、中に入ることのできる東隅櫓



底が通路になっている東曲輪の堀

天守を支える逆反りの石垣